

平成26年9月17日

平成26年度病虫害発生予報第6号

長崎県病虫害防除所長

【予報の概要】

農作物名	病虫害名	発生程度	
		現況	予想
普通期水稲	紋枯病	並	並
	トビイロウンカ（注意報第5号継続）	やや多	多
大豆	ハスモンヨトウ	やや少	並
	吸実性カメムシ類	並	並
いちご （育苗床）	うどんこ病	並	並
	炭疽病（ <i>G. cingulata</i> ）	やや少	並
	ハダニ類（防除情報第10号）	やや多	やや多
	ハスモンヨトウ	少	やや少
アスパラガス	アザミウマ類	やや少	並
かんきつ	緑かび病、青かび病	—	やや少
	ミカンハダニ	並	並
果樹共通	カメムシ類（注意報第4号継続）	多	多
茶	炭疽病（防除情報第9号継続）	やや多	やや多
	カンザワハダニ	並	並
	チャノキイロアザミウマ	やや少	並
	チャノコカクモンハマキ	やや少	並
	チャノホソガ	並	並
	チャノミドリヒメヨコバイ	やや少	並
	クワシロカイガラムシ	やや少	並

【発生予報】 本文の（ ）内は平年値

普通期水稲

1. 紋枯病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（87筆）の結果、発病株率は1.8%（3.0%）、発生圃場率は28.7%（40.4%）であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、発病株率は37.0%（40.0%）であった。

2. トビイロウンカ

平成26年9月16日付け、病虫害発生予察注意報第5号を継続。

大豆

1. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は2.4%(11.0%)、株当たり虫数は0.9頭(0.6頭)、白変葉発生圃場率は60.0%(46.4%)であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、発生を認めなかった(寄生株率、17.8%)。

ウ フェロモントラップ(諫早市)の誘殺量は、8月5半旬に増加し、その後減少し、平年並に推移している。

エ 向こう1ヵ月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

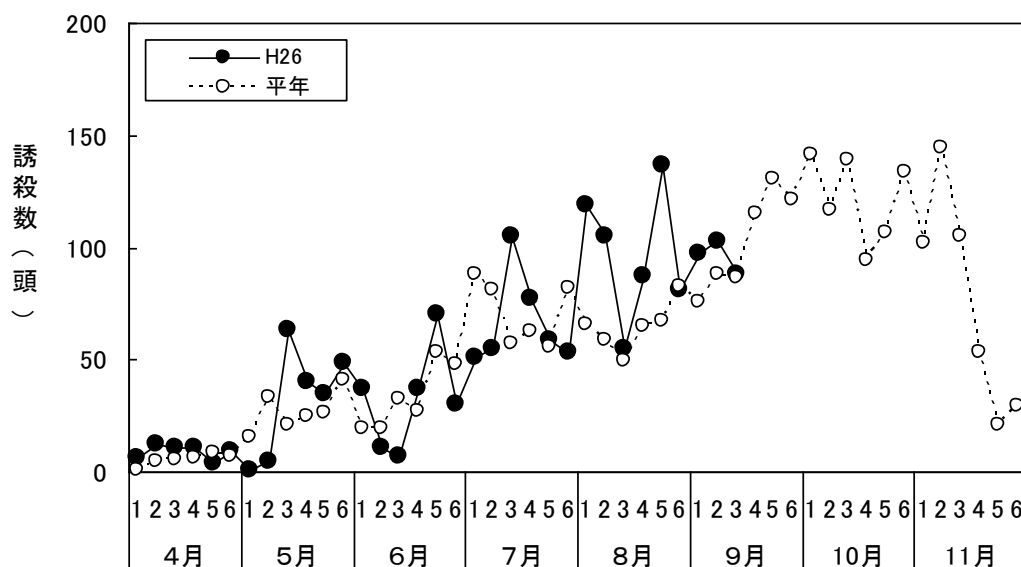


図 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市小船越)  
平年: H16~H25年の平均値(最大・最小値除く)

(月・半旬)

2. 吸実性カメムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は0.3%(0.6%)、株当たり虫数は0.0頭(0.0頭)、発生圃場率は13.3%(16.5%)であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、寄生株率は52.0%(4.0%)、株当たり虫数は2.0頭(0.1頭)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(32筆)の結果、発病株率は0.1%(0.0%)、発生圃場率は3.0%(2.5%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 定植後は、定期的に薬剤の予防散布を行う。

- イ 薬剤散布は、薬液が葉裏に十分かかるように散布する。
- ウ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤は連用しない。
- エ 除去した茎葉は、圃場内やその周辺に放置しない。

## 2. 炭疽病 (*G. cingulata*)

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(32筆)の結果、発病株率は0.1%(0.5%)、発生圃場率は6.1%(16.2%)であった。

イ 本年は8月以降多雨傾向で推移し、本病の感染に好適な条件が続いた。8月までの巡回調査においても7月下旬を除き、発生がやや多〜多く推移したことから潜在感染株が多いと推測される。

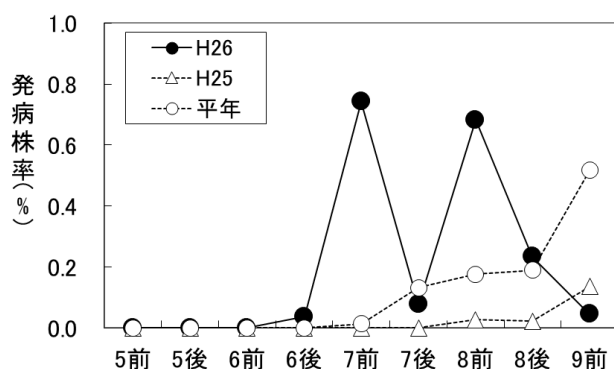


図 炭疽病 (*G. cingulata*) 発病株率の推移

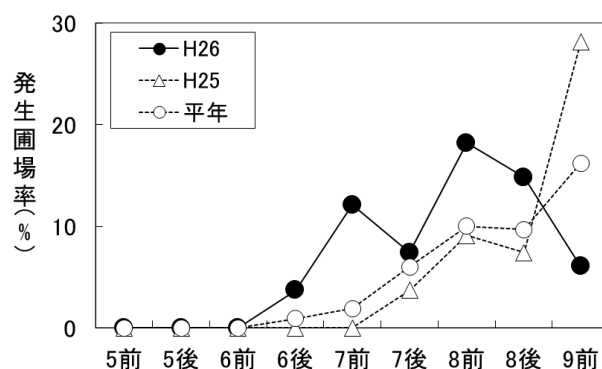


図 炭疽病 (*G. cingulata*) 発生圃場率の推移

### (3) 防除上注意すべき事項

ア 発病株およびその周辺の株は速やかに処分するとともに、定植前の選別を徹底し、疑わしい株は定植しない。

イ 本圃で発病を認めた場合は速やかに抜き取り圃場外へ持ち出す。除去した発病株や茎葉は伝染源となるので圃場内やその周辺に放置しない。

ウ 強風雨や台風の前前後など発生のおそれがあるときは薬剤散布を徹底する。

## 3. ハダニ類

平成26年9月17日付け**病害虫発生予察防除情報第10号**による。

## 4. ハスモンヨトウ

### (1) 予報内容

発生程度 やや少

### (2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(32筆)の結果、食害株率は0.1%(2.8%)、発生圃場率は6.1%(37.6%)であった。

イ 向こう1か月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

## アスパラガス

## 1. アザミウマ類

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

- ア 9月上旬の巡回調査（12筆）の結果、払い落とし虫数（10.5cm×22.5cmの白色板に5回×10ヶ所）は4.3頭（過去7カ年平均6.7頭）、発生圃場率は58.3%であった（過去7カ年平均54.4%）。
- イ 向こう1か月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

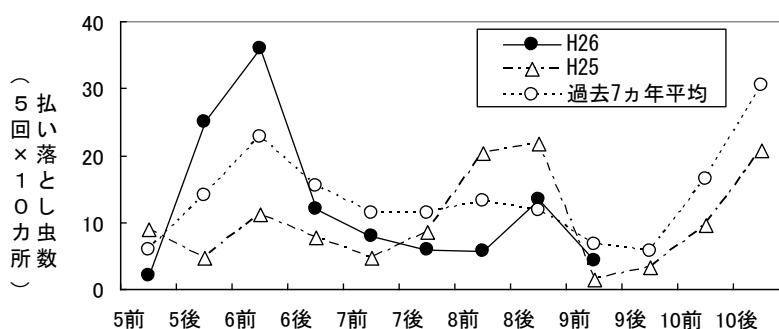


図 アザミウマ類 払い落とし虫数の推移(巡回調査)  
※払い落とし虫数は成虫、幼虫の合計

## かんきつ

### 1. 緑かび病、青かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

向こう1か月間の降水量は、平年より少ない見込みである。

### 2. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査（36筆）の結果、寄生葉率は7.0%（5.6%）、発生圃場率は47.2%（45.4%）であった。

## 果樹共通

### 1. カメムシ類

平成26年9月1日付け**病害虫発生予察注意報第4号**を継続。なお、その後の発生状況については以下のとおりである。

(1) 発生状況

ア 巡回調査ならびに病害虫防除員、振興局の調査において、一部のかんきつ園で飛来が見られている。

イ 県内各地の予察灯による誘殺数は、北有馬および岐宿で8月中下旬に増加している。また、その他の地域では平年並かやや少なくて推移している（図）。

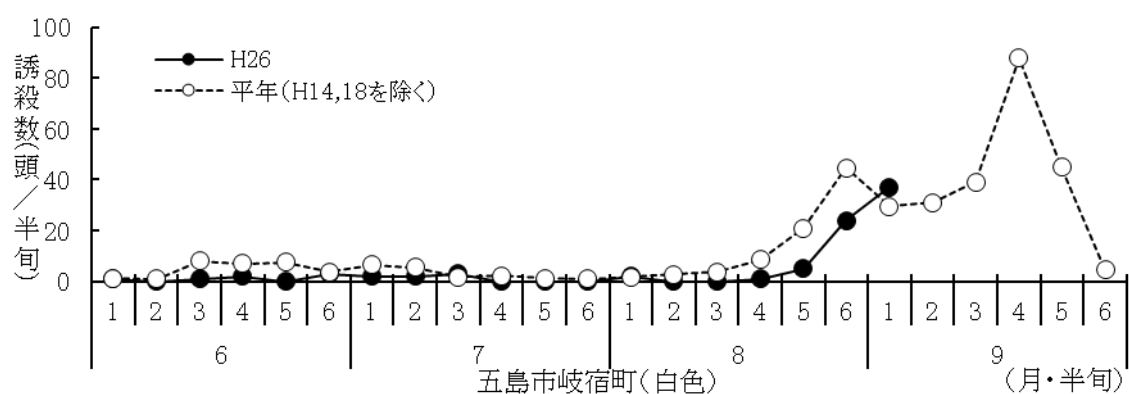
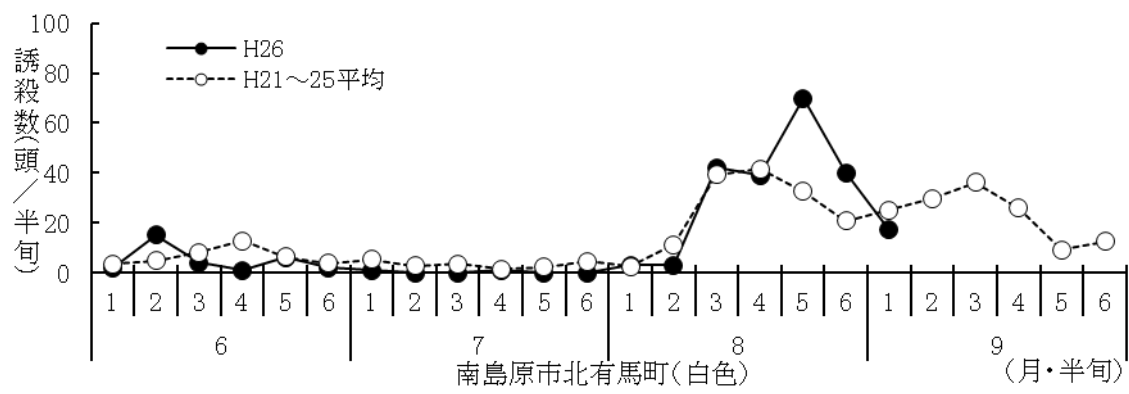
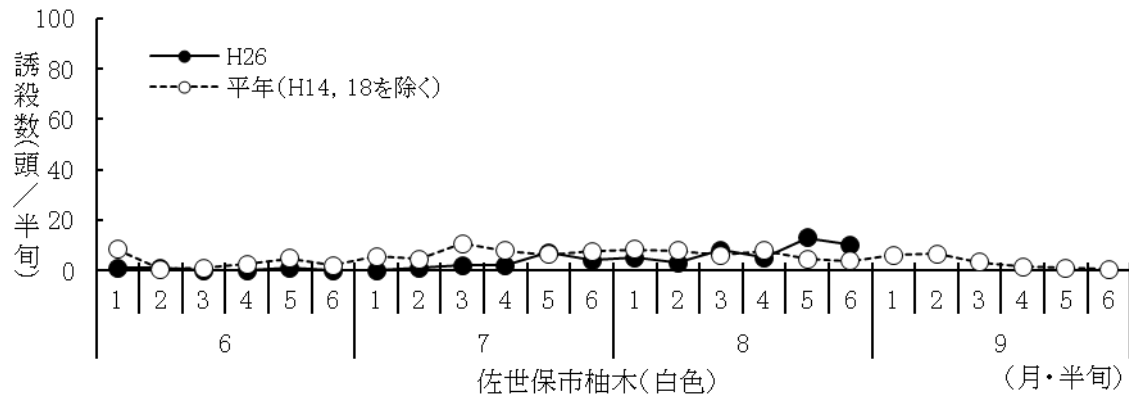
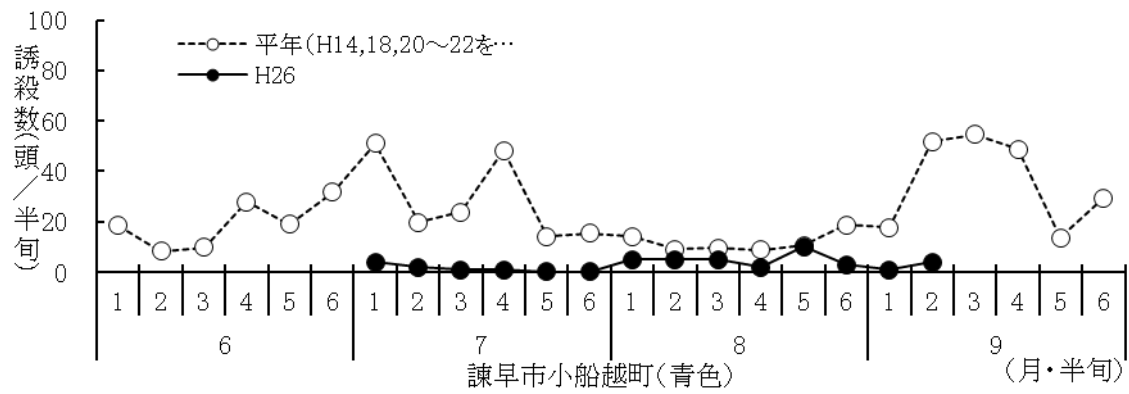


図 果樹カメムシ類誘殺状況(予察灯;白色、青色)

茶

1. 炭疽病

平成26年8月29日付け**病害虫発生予察防除情報第9号**を継続。  
 なお、その後の発生状況については以下のとおりである。

(1) 発生状況

9月上旬の巡回調査（20筆）の結果、1㎡あたり発病葉数は20.2枚（4.0枚）、発生圃場率は75.0%（45.6%）で、一部多発圃場が見られた。

2. カンザワハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査（20筆）の結果、寄生葉率は0.8%（1.0%）、発生圃場率は15.0%（20.6%）であった。

3. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（20筆）の結果、たたき落とし虫数（A4版トレイ）は6.6頭（20.6頭）、発生圃場率は90.0%（81.0%）であった。

イ 向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

4. チャノココクモンハマキ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（20筆）の結果、1㎡あたり巻葉数は0.0枚（0.3枚）、発生圃場率は5.0%（16.9%）であった。

イ フェロモントラップによる誘殺量（農林技術開発センター茶業研究室調査）は平年並で推移している（図）。

ウ 向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

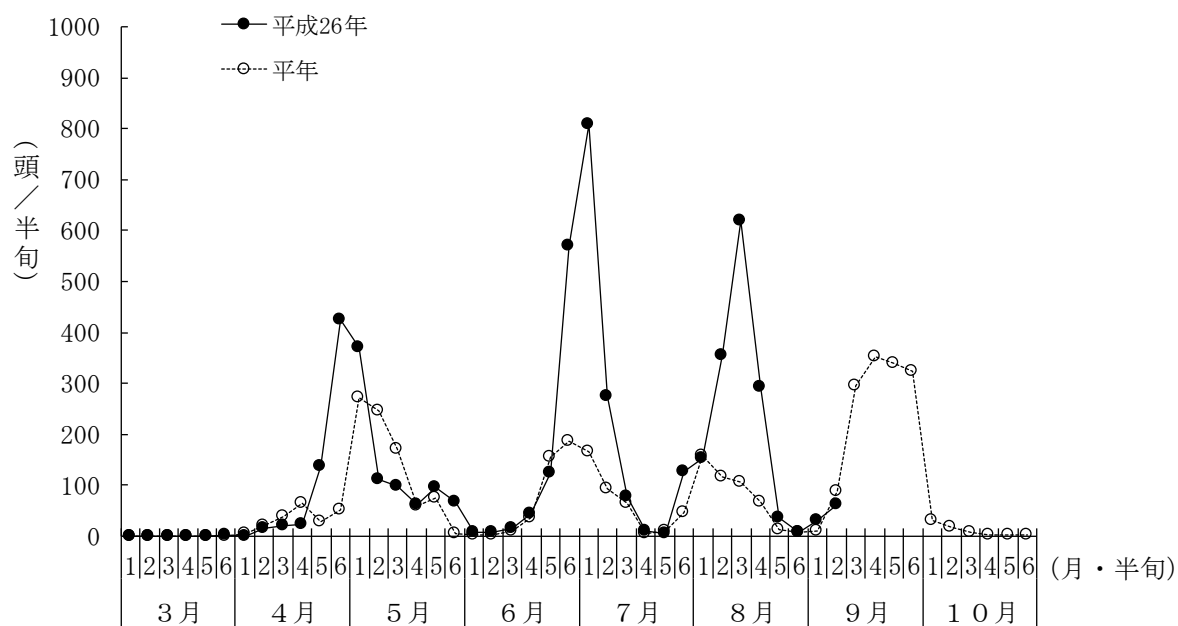


図 チャノココクモンハマキの誘殺状況（東彼杵：フェロモントラップ）

5. チャノホソガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、1㎡当たり巻葉数は0.6枚(1.0枚)、発生圃場率は30.0%(32.5%)であった。

イ フェロモントラップによる誘殺量(農林技術開発センター茶業研究室調査)は、平年並で推移している(図)。

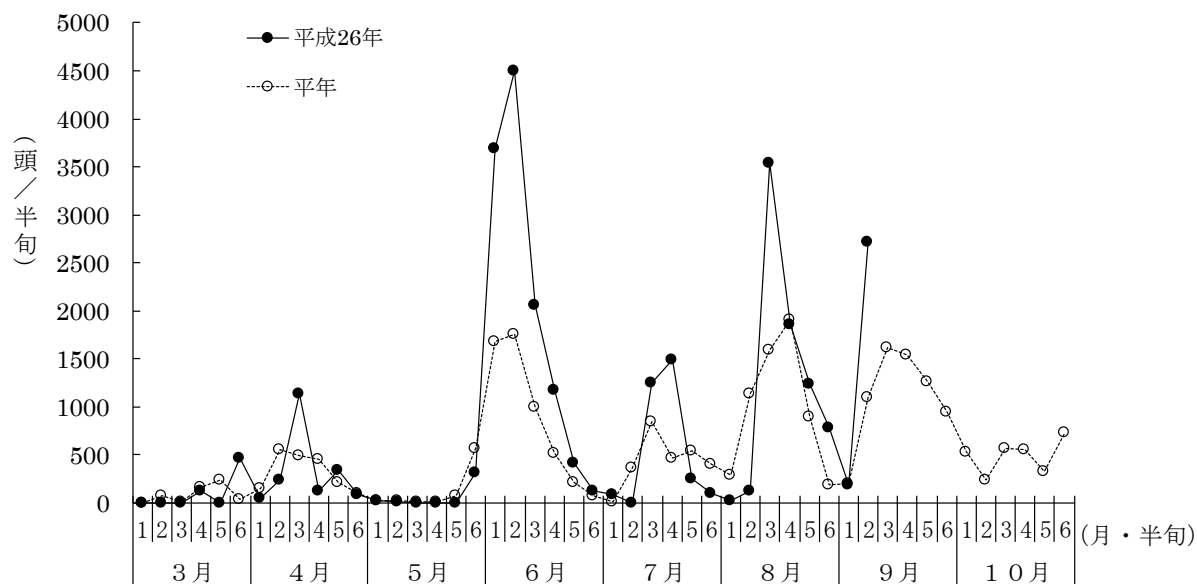


図 チャノホソガの誘殺状況(東彼杵：フェロモントラップ)

## 6. チャノミドリヒメヨコバイ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、たたき落とし虫数(A4版トレイ)は0.6頭(1.8頭)、発生圃場率は25.0%(56.3%)であった。

イ 向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

## 7. クワシロカイガラムシ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、寄生株率は1.0%(5.2%)、発生圃場率は10.0%(31.9%)であった。

イ 向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027